平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

整理番号	9 ― 55

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	地域交流センター管理清掃業務委託事業					
評価者	担当課名		産業振興課	担当係名		商工観光係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	石井弘道		氏名	齋藤康志
事業の概要	地域交流センター内に事務所を開設している雄武町商工会に、施設の管理業務及び清掃業務を委託している。					

全体計画	/単年度繰返
（平成 20 年度～ 24 年度）	
事業費 国・道支出金	千円
地方債	千円
その他	千円
一般財源	29,500 千円
事業費計	29,500 千円

実施方法	□ 直営	■ 民間委託	□ その他（　）
第 5 期 総合計画（前期）	■ 登載事業	□ 非登載事業	優先度 B

事業の位置付け			
政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
基本施策	4	商工業の振興	
単位施策	3	住民を支える商店街づくりへの支援	
事務事業の種類	■	自治事務	□ 法定受託事務
その他計画・根拠等			

事業費 実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
雄武町負担額（一般財源）	5,839 千円	5,735 千円	5,753 千円	5,900 千円	5,900 千円
合計	5,839 千円	5,735 千円	5,753 千円	5,900 千円	5,900 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	雄武町商工会	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	より充実した運営・管理のため、民間ノウハウを活用した指定管理者制度導入の検討を要する。	利用者数		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	地域交流センターは市街地の中心に位置し、「道の駅」の指定も受けている。通年で多くの人が訪れる雄武の顔とも言える施設であることから、良好な管理・運営により利用者へのサービスを図る。	① 適切な維持管理 平成22年度利用者数 16,198人	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	清潔で快適な施設の提供に加え、特産品の売買や観光情報の発信によってサービス向上を目指す。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
施設の維持管理・清掃業務の委託	施設内に事務所を開設している商工会への業務委託

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	商工会は建物内に事務所を開設していることから施設状況を熟知しており、委託先とすることにより効率化が図られる。また、当施設は商業地域内の中核施設として位置づけられていることから、商工業に精通している団体に委託することが適当と考える。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	施設の管理状況の報告、異常個所の報告等、迅速な対応もなされており、有効と判断する。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	公共工事に使用する労務単価を使用するなど、過剰なコスト算定は行われておらず効率的と判断する。また、消耗品については委託契約の中に含めず役場で購入していることから、委託費用の大半は人件費相当分であり、大幅な削減は見込めない。

(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	特定団体との随意契約であるが、商工会は商工会法により定められている公共性の高い団体であることから、公平性は担保されていると判断する。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
適切な維持管理が実施されており、目標は達成されていると判断する。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
当面は現状維持が望ましいが、将来的には指定管理者制度の導入について検討を要する。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）